

自治医大卒業生女性医師支援NEWS

平成28年9月地域医療推進課発行



◇女性卒業生同士の意見交換会報告◇

平成28年8月26日(金)、フクラシア東京ステーション(東京)にて「卒後ワークライフバランスについて考える会2016年度ブロック担当会議」を開催しました。

医学部卒後指導委員会では、義務年限中の女性医師支援の活動の一環として「卒後ワークライフバランスについて考える会」と称し、卒業生の講演会と学生・卒業生との懇談会を行っておりますが、この会は、全国10ブロックから女性医師支援の中心的な役割を担っていただく女性卒業生にお集まりいただき、今後の自治医大の女性医師支援について有意義な意見をいただく場として位置付けております。今回で4度目の開催となりますが、13期～33期までの女性卒業生8名に参加いただき、昨年度から今年度にかけての動きについてひとりひとり報告を行いました。さらに、この1年の自治医大の女性医師支援の活動について振り返ったあと、今年4月からアメリカ・サンディエゴにご家族で留学中の渡邊ありさ先生より「アメリカ留学生活の紹介」と題して発表がありました。



会では結婚協定者に対する意識調査を検討しており、牧野医師から資料をもとに提案がされました。調査は現在、議論中ですが早ければ今年度中にも実施する予定です。

終始、活発な意見交換がなされ非常に有意義な会となりました。

今回のご意見をもとに、より良い女性医師支援の取り組みに向けて検討していきます。



【今回ご参加いただいた女性卒業生】

- ・十枝めぐみ 先生(香川13期) ・白石裕子 先生(島根17期) ・横谷倫世 先生(奈良21期)
- ・定金敦子 先生(福岡22期) ・影向一美 先生(新潟24期) ・渡邊ありさ 先生(埼玉24期)
- ・新井由季 先生(栃木25期) ・山本智美 先生(北海道33期)